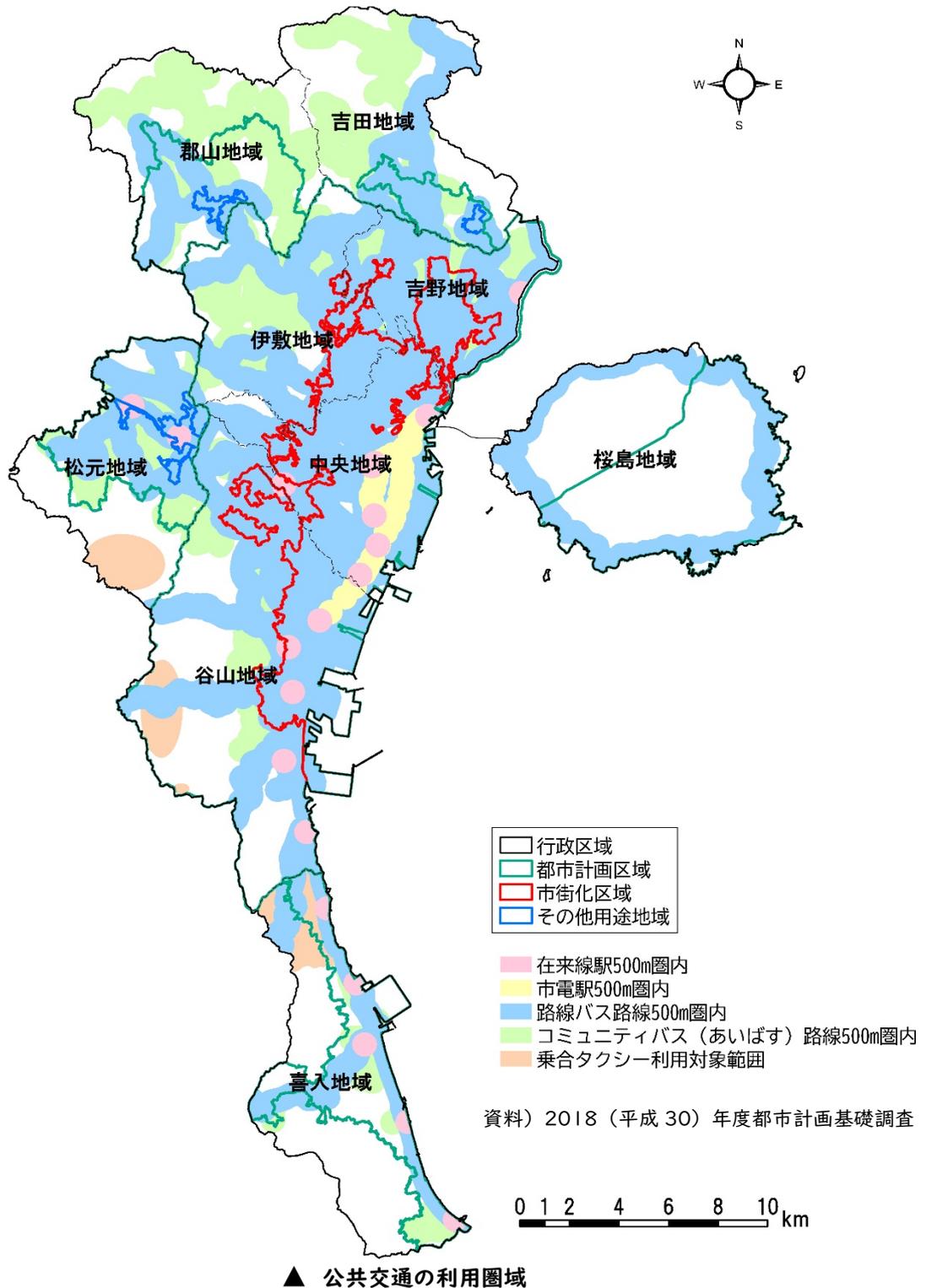


(4) 交通

① 公共交通の利用圏域

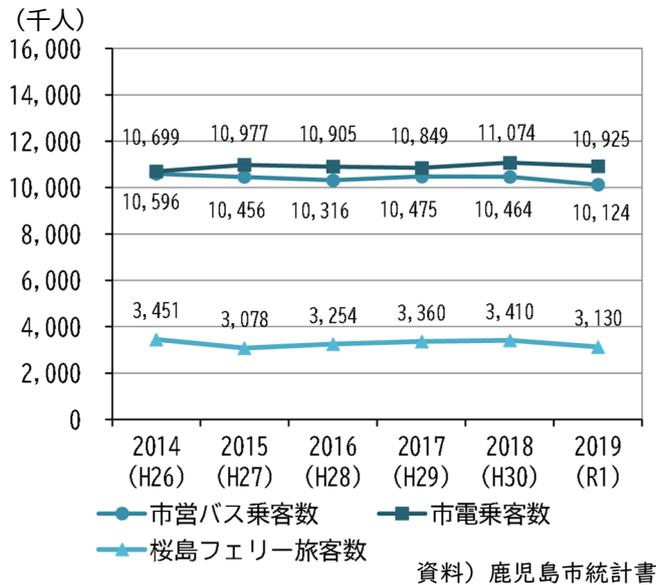
公共交通の利用圏域は、市街化区域では鉄道・市電・路線バスなどの多様な公共交通で網羅されています。

また、桜島地域では路線バスで網羅されており、吉田、喜入、松元、郡山地域では路線バスのほか、地域を循環するコミュニティバスが公共交通の主体となっています。

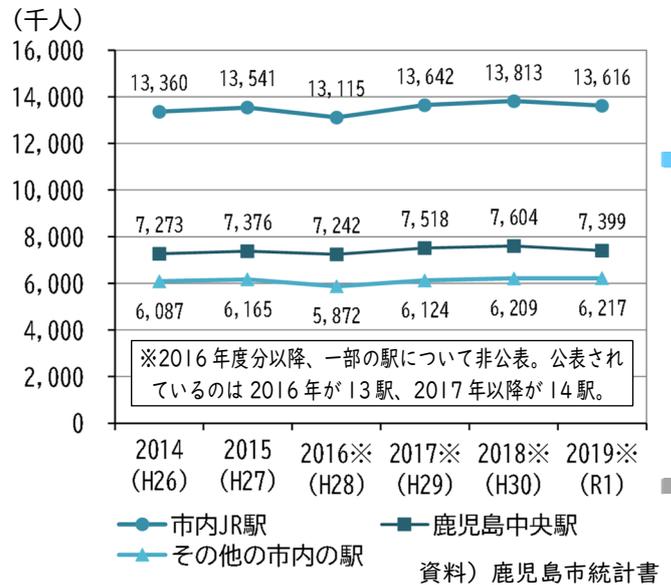


② 公共交通の利用者数

市営バス、市電、鉄道の乗客数は、概ね横ばいで推移していますが、桜島フェリーの旅客数は、減少しています。



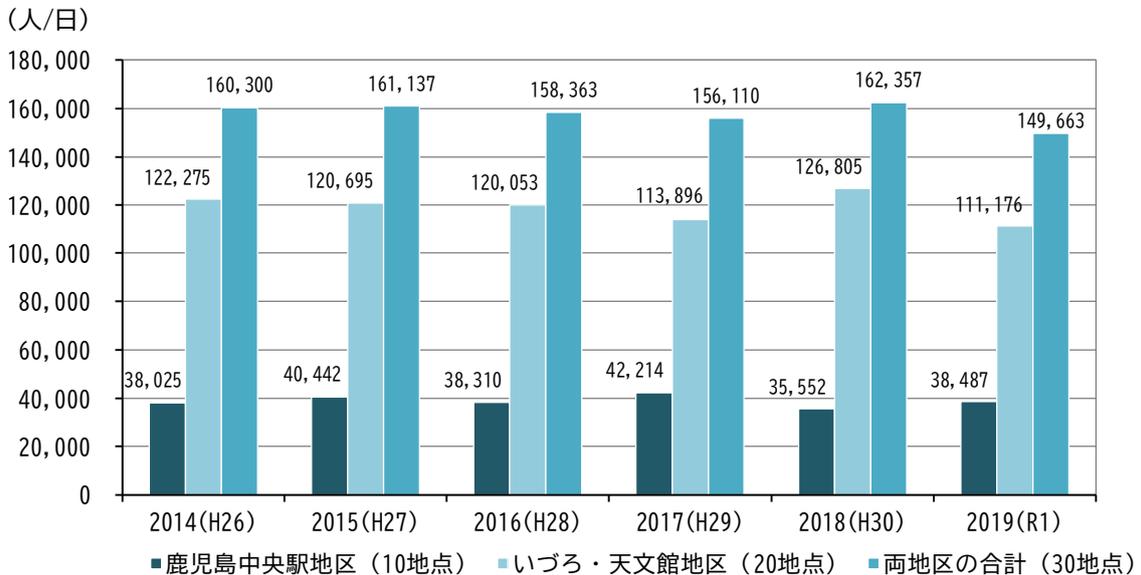
▲ 市営バス、市電、桜島フェリーの乗客数の推移



▲ 鉄道乗客数の推移

③ 歩行者等の通行量

中心市街地における歩行者（自転車のほか、バイクなどを押して歩く人を含む）の通行量は、概ね横ばいで推移しています。

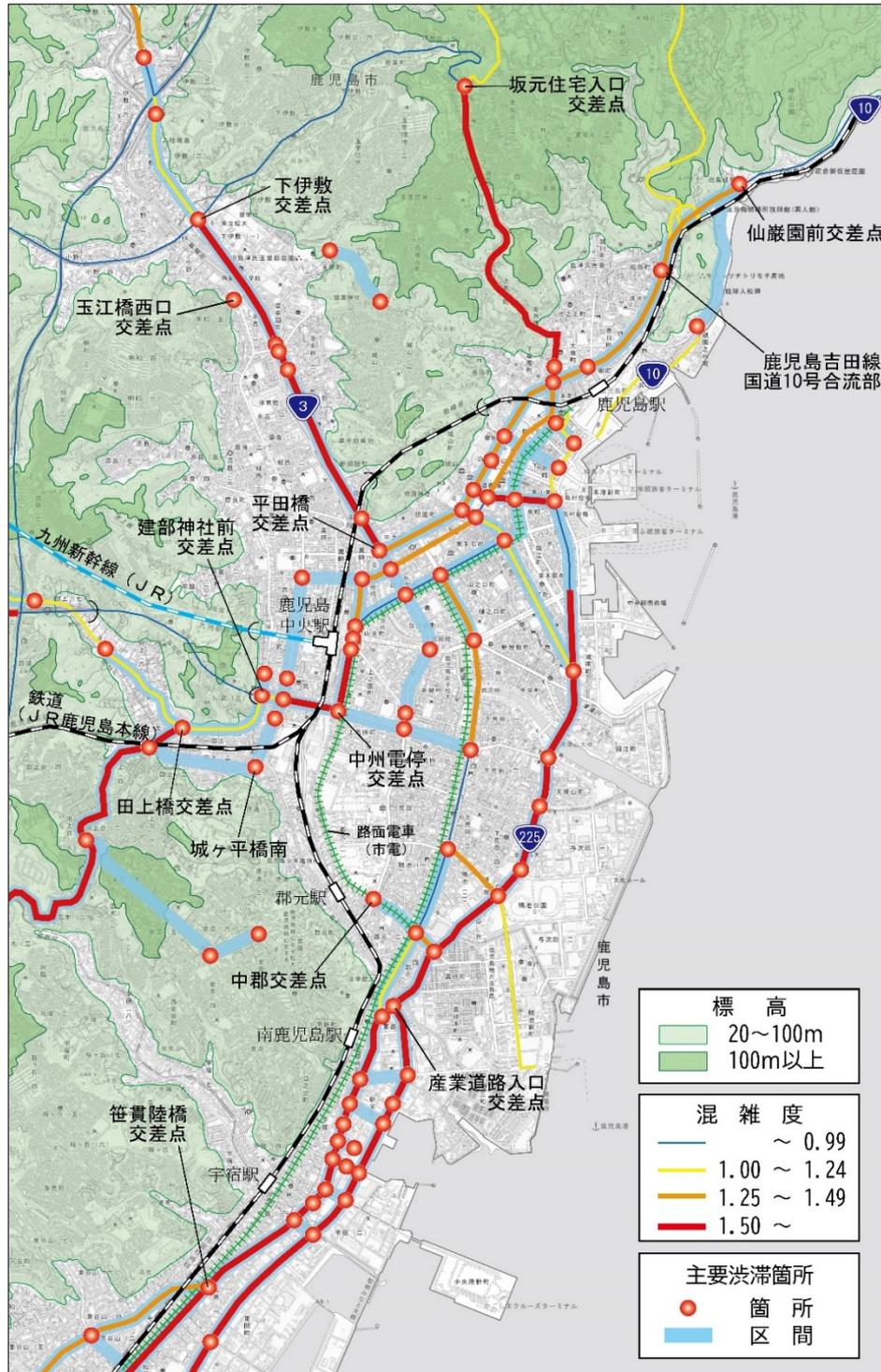


▲ 歩行者通行量 (土日)

④ 主要道路の混雑度

本市は、山と海に囲まれているため、平地が少なく、市街地へ接続する道路が限定されることなどから、幹線道路に交通が集中する都市構造となっています。

主要道路の混雑度は、国道3号、225号などの幹線道路で特に高く、都心部と郊外部を結ぶ路線バスなどの公共交通機関の定時性や速達性の低下の要因にもなっています。



資料)「混雑度」は2015(平成27)年度全国道路・街路交通情勢調査、

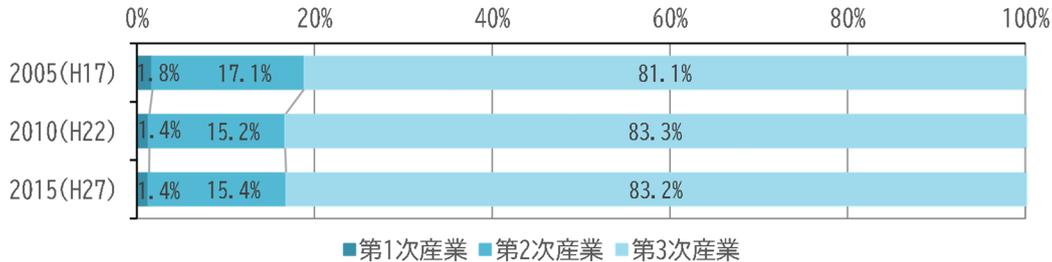
「主要渋滞箇所」は2021(令和3)年度鹿児島県交通渋滞対策協議会資料を基に作成

▲ 主要道路の混雑度(都心部周辺)

(5) 産業

① 就業構造

就業人口は、2015（平成27）年で26万9千人であり、就業構造は、第3次産業の就業者比率が83.2%と非常に高い状況です。また、第1次産業の就業者比率は低く、減少傾向にあります。

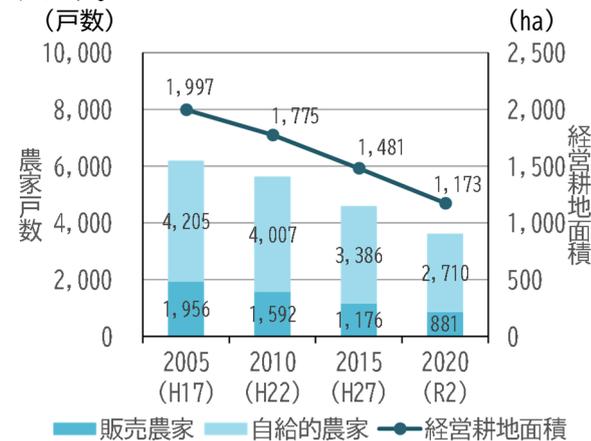


資料) 都市計画基礎調査

▲ 産業別就業者比率の推移

② 農業

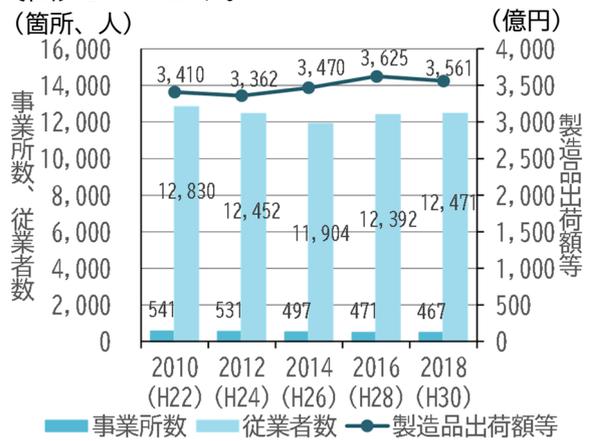
農家戸数、経営耕地面積ともに減少傾向にあります。



資料) 2010年は世界農林業センサス、2005年・2015年・2020年は農林業センサス

③ 工業

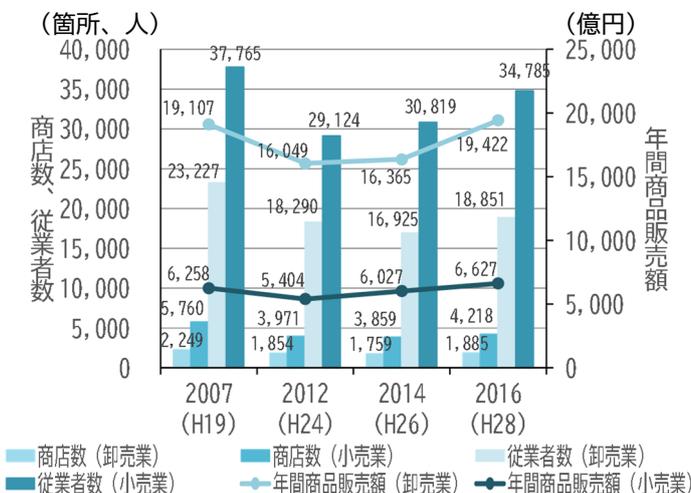
事業所数は減少傾向、従業者数は横ばいで推移しています。



資料) 工業統計調査

④ 商業

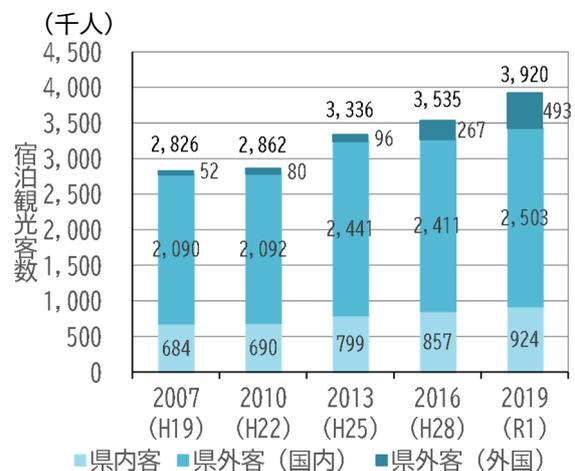
商店数、従業者数、年間商品販売額は、近年増加しています。



資料) 2007年・2014年は商業統計調査、2012年・2016年は経済センサス

⑤ 観光

本市を訪れる宿泊観光客数は、近年、増加しています。



資料) 鹿児島市観光統計

注) 図中の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。また、構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

(6) 防災

① 風水害

6月～8月にかけて年間降水量（2014～2018（平成26～30）年の平均：2,891mm）の約半分を占めるような大雨が降る傾向にあり、また、台風の勢力が強い段階で接近・上陸することから猛威にさらされやすく、過去の気象災害のうち、大雨と台風での被害が大きくなっています。

さらに、本市の地質はシラスと呼ばれる特殊土壌地帯が多く、流水による浸食を受けやすいため、斜面崩壊、地すべり、土石流など、大規模な土砂災害が生じ、被害が大きくなる傾向があります。

また、甲突川・稲荷川・新川などの二級河川が市街地を流れており、大量の降雨が一気に河川に流れ込むことで、中心市街地を含む市内の広い範囲で浸水する恐れがあります。

② 地震・火災

県本土は、九州でも比較的有感地震の発生が少ない地域であり、中でも本市は、活断層やプレート境界域起源の地震による災害の記録がない地域です。

しかし、本市においても、2017（平成29）年7月に鹿児島湾を震源とする震度5強の地震が発生しており、鹿児島湾直下などで大地震が発生した場合、多数の人的被害や建物被害が想定されています。

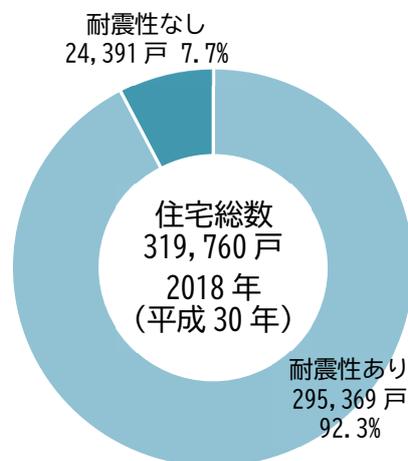
このような中、住宅総数の7.7%にあたる2万4千戸が、耐震性がない状況です。

また、地震時などに火災が発生した場合、延焼の危険性がある木造家屋の密集地が、一部の地域に点在しています。

③ 桜島爆発・降灰

世界有数の活火山である桜島は、60年以上も噴火活動を続けており、降灰のほか、噴石の飛散なども発生しています。

また、始良カルデラ下のマグマ溜まりには、多量のマグマが蓄積され、大正噴火級の大規模噴火に対する警戒を要する時期に入ったとされていることから、大規模な噴火への備えが必要です。



資料) 2018（平成30）年住宅・土地統計調査を基にした推計

▲ 住宅の耐震化の状況



▲ 桜島の噴火